



久保田由夫 ほっと通信



NO. 92
2019. 9月号
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・フェイスブック・ホームページもご覧ください>



<季節の写真>

白い花が咲くそば畑(上)、「第24回信州爆水 RUNin 依田川」全国から1300人以上の方が楽しんだ。



「消費税増税不可避論」に異議あり！～斎藤貴男氏～

◆8月は、夏ならではのイベントがたくさん開催された。帰省された方も家族や親せき、友人との親交を深めたことでしょう。◆消防夏まつり(11日)と防災啓発ドキュメンタリー映画の上映会(24日)は、長瀬地区会議(まちづくり組織)が主催したもので、主催者側の苦労も分かったが、参加された方が楽しんでいただき、防災について役立てれば幸いです。◆農作物の収穫の時期を迎えた。実りの秋です。地域でとれる農林水産物を活用して持続可能な地域づくりにつなげなければなりません。◆10月からの消費税増税になるが、今頃になってマスコミは軽減税率の複雑な仕組みについて報道している。本来は選挙の前に行うべきである。◆消費税のカラクリ(斎藤貴男著書・ジャーナリスト)では、消費税の弊害として①逆進性(所得の低い人ほど負担が大きい)②益税(消費税が手元に残ること)③景気を冷え込ませてしまう、というだけでない視点で告発している。◆「消費税の国税滞納額のワーストワン」「消費税は預り金ではなく物価なのだ」「納税義務者はだれで、徴収義務者は誰なのかが明確でない」「消費税が正社員のリストラを進め、派遣社員を増やすことに一役買っている」消費税の本質にかかわる指摘です。消費税増税賛成の方や特に考えたことがない方にお勧めということです。誤解だらけの「消費税増税不可避論」に異議あり！という副題もついています。消費税の本質がわかります。(よしお)

「上田市 30 年度決算」「地域の活性化、人口減少抑制対策」「教職員の長時間勤務の解決策」

【人口動態】

H22 社人研推計による H27 人口推計値と、H27 実績値を比較すると以下のようになります。

地域名	平成 22 年 人口 (人)	平成 27 年人口 (人)		H22→H27 増減率 (%)	
		上段 (H22 社人研推計)	下段 (実績数値)	増減数	増減率
中央地域	33,941	32,839	33,906	-1,102 人	-3.2%
				-35 人	-0.1%
西部地域	11,170	10,764	11,045	-406 人	-3.6%
				-125 人	-1.1%
城南地域	28,639	28,152	28,800	-487 人	-1.7%
				+161 人	+0.6%
神科・豊殿地域	20,113	19,746	20,265	-367 人	-1.8%
				+152 人	+0.8%
塩田地域	20,756	20,302	20,299	-454 人	-2.2%
				-457 人	-2.2%
川西地域	7,023	6,785	6,877	-238 人	-3.4%
				-146 人	-2.1%
丸子地域	23,554	22,489	22,244	-1,065 人	-4.5%
				-1,310 人	-5.6%
真田地域	10,615	10,010	9,918	-605 人	-5.7%
				-697 人	-6.6%
武石地域	3,786	3,487	3,473	-299 人	-7.9%
				-313 人	-8.3%
総人口	159,597	154,574	156,827	-5,023 人	-3.1%
				-2,770 人	-1.7%

※H22 社人研推計の地域毎の人口は、推計総人口と整合するため補正してあります。

左の表は、市役所都市建設課が作成した「立地適正化計画 Q&A」の表です。(上田市 HP 参照。)社人研とは、国立社会保障・人口問題研究所のことです。上段が社人研の推計で下段が実績数値です。合計欄では、上田市の実測数値は社人研の推計よりは、2,253 人上回っています。上田市は、外国人集住都市会議に参加するほど外国人の居住者が多く、平成 24 年から改正住民基本台帳法が施行され、外国人住民も住民基本台帳制度の対象となったことにも関係しているみたいです。丸子地域の人口減少が気になります。

9 月議会で、久保田由夫議員は次の項目で質問します。詳細は次号以降になります。

- ◆ 市税金等の収納対策の現状と課題
- ◆ 公有財産にかかる固定資産台帳の公開
- ◆ 平成 30 年度決算の財務諸表をわかりやすく
- ◆ 地方公会計の導入で他団体との比較ができる
- ◆ 地域の活性化はどのようなことを指すのか
- ◆ 人口減少抑制対策の実態と課題
- ◆ 地域別の人口の推移と分析、対策は
- ◆ 教職員の長時間勤務の実態は
- ◆ 長時間勤務がなぜ増えたのか
- ◆ 増えすぎた過大な業務をどう改善するか
- ◆ 教員を専門職として尊重を